

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	熊本大学、九州大学、鹿児島大学、西南学院大学				
取 組 名 称	学生主導型ゼミによる地域活性化人材の育成				
取組学部等	熊本大学法学部、九州大学法学部、鹿児島大学法学部、西南学院大学法学部				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A21060	申請の形態	共同	取組期間	3年
申請の分類	体験活動	地域活性化			
キーワード	大学連携、地域活性化人材、学生主導、フィールドワーク、政策教育				

<選定理由>

本取組は、地域社会が共通して抱える問題の解決策を見出す能力を有する人材の育成を図るため、4大学の合同と地方自治体、地域住民、民間企業等の協力を得て実施しようとする進んだ取組である。特に、地方自治体が抱える地域問題を、ゼミごとに課題の設定や合同合宿などの企画・立案を学生主導で進める演習方法であり、同時に自治体職員・地域住民・企業などを取り込んで課題の解決策を探ることから、学生のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などの向上や社会的涵養に資する教育方法として高く評価できる。また、合同演習科目は7年間の実績を踏まえ、各大学にカリキュラムの中で明確に位置づけされており、また、スケジュールの進行に欠かせない合宿演習専用の事務局体制が整備される予定であり、取組の発展性が大いに期待できる。

ただし、成績評価の方法については4大学を通じた客観的な評価方法を開発する必要があり、また、地域問題は経済問題も多く含まれると予想されるため、法学部以外の参加も今後検討することが望まれる。

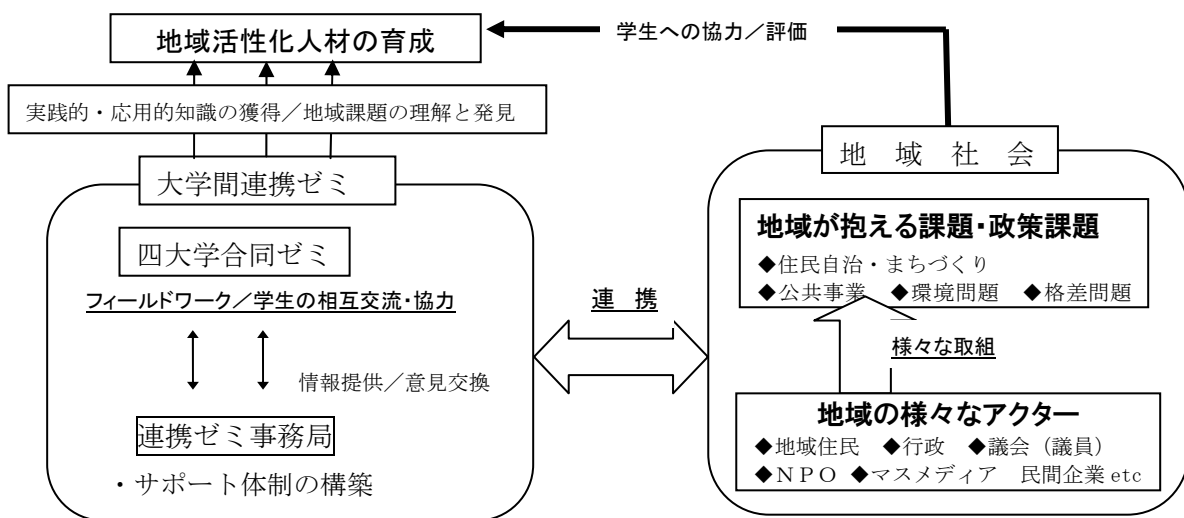
取組の概要【1ページ以内】

【目的】本事業は、九州管内の4つの大学が連携し、フィールドワークを基盤とした学生主導型の合同ゼミを開催し、以って、山積する地域課題の解決に資する人材の育成を図る事業である。目指す人材像は、一言でいえば「**地域活性化人材**」である。具体的には以下のとおりである。

- ①地域課題の発見・把握のプロセスを身につけている
- ②情報発信力に基づいた企画立案力を身につけている
- ③プロジェクト遂行のためのマネジメント能力を身につけている

【実績と事業内容】熊本大学、九州大学、鹿児島大学、西南学院大学は、佐賀大学を加えて、**大学連携**による「九州五大学合同ゼミ」を平成13年から行っており、地域の抱える問題について、関係者と対話しながら、**フィールドワーク**によって実情を調査し、認識を深める合宿形式の演習を行ってきた。この合宿では、教員はあくまで学習の助言者であり、運営は全て**学生主導**によって行われ、教員は一切口を出さないという方法で行ってきた。このような学習方法は、学生の社会問題への認識の深まり、情報発信力（コミュニケーション・プレゼンテーション能力）の高まりとともに、マネジメント能力の向上にも資するところが極めて大きいことが確信できた。

本事業は、こうした実績に基づいて、これを明確に人材育成としてカリキュラムに位置づけ、学生主導の運営を維持しながら、適正なサポート体制を構築し、**政策教育**を通じた学士課程教育の質的向上を目指すものである。事業の全体像、スケジュールは以下のとおりである。



【大学間連携ゼミ年次計画】

時期	6月	7—8月	9月—10月	12月	1-2月
活動概要	<p>テーマ募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆各ゼミごとに討論/アイデアの検討 	<p>テーマの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆共通図書の設定 ◆大学間で情報の集約・共有 	<p>大学別プレ合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆各大学でフィールドリサーチ・討論 ◆資料作り ◆合同合宿の準備 	<p>大学間合同ゼミ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大学別の発表 ◆分科会の設置・グループワーク ◆全体討論・総括 	<p>成果発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆活動記録/報告書の作成 ◆学生たちの成績評価